

株式会社イマナガ

2013年 CSR報告書(初版)



本報告書は、株式会社イマナガのCSR（企業の社会的責任）に関する考え方や取組みについてステークホルダー（利害関係を有する方々）の皆様にわかりやすくご報告し、ご理解いただくことを目指しています。

弊社では、このCSR報告書以外にもホームページや公益財団法人産業廃棄物処理振興財団の産廃情報ネットにてさまざまな情報を更新しております。

WEB サイト

公益財団法人産業廃棄物処理振興財団の産廃情報ネット

<http://www.sanpainet.or.jp/>

株式会社イマナガ ホームページ

<http://www.imanaga-r.co.jp/>

対象期間

2013年度（2012年8月1日～2013年7月31日）まで

対象組織

株式会社イマナガ

発行時期

2013年8月（初回）

【目次】

基本指針・環境方針	1
トップメッセージ	2
会社概要	3
組織体制・ISO14001：2004への取組み	4・5
CO ₂ 排出量の把握	6
従業員教育（外部）	7
従業員教育（内部）	8
来期への展開	9

基本指針・環境方針

基本指針

(株)イマナガは、廃棄物の資源化・有効利用を継続して実行することを最終目的とし、廃棄物を適切に処理することによって環境への悪影響を低減し、処理技術の確立に努め、収集運搬から中間処理及び容器包装リサイクル事業まで一貫したシステムによる再資源化 100%を目指し、循環型社会づくりに貢献する事業活動を行います。

環境方針

1. 事業活動において、環境側面を意識し廃棄物の資源化・有効利用、廃棄物の処理に係わる環境への影響を自主監査し、環境負荷を低減します。
2. 廃棄物の処理に係わる適切な技術の開発、実行、改善を継続的に実施し、省資源、省エネルギーなど、環境汚染の予防に務めます。
3. 環境関連の法規制、その他の要求事項を順守し、環境汚染物質などの排出については自主基準を定め、確実に環境保全に努めます。
4. 事業活動において、環境目的及び目標を設定し、継続して見直し改善します。
5. 環境保全活動を通じて、地域社会に積極的に貢献します。
6. 環境方針は全従業員及び当社へ係わる事業者に周知し、一般に公開します。

改訂 2006. 1. 15

トップメッセージ

エコタウン事業について

北九州市の新門司工業団地に立地している企業として、自然を大切にするというのは当然の事ですし、今あるものを大切にしながら、未来に向けて進んでいくことが、私たちに与えられた使命だと考えています。ISO14001の取得を目指したのも、環境基本方針や環境方針に掲げている通り、廃棄物を適切に処理するために、環境への影響を自主監査し、環境への負荷を低減することが可能な体制をつくることが大切だと考えたからです。

ISO14001を取得してから知った環境関連の法規制などもあり、私自身も勉強することが沢山ありました。弊社の商標となっている「生かそう減らそう廃棄物」というマークも、地球環境というイメージで作ったものです。これからも限りある資源を大切に、エコタウン立地企業としてリサイクルに取り組んでいきます。又、環境負荷物質についての認識や、影響についての把握に努め社会に貢献できる経営を行っていきます。

これからの事業展開は

2011年の東日本大震災後、今まで津波の被害を想定していなかった弊社は、従業員の命を守るという事を最前提に、緊急時の対策を策定しました。

毎日の積み重ねが企業も命も守るということを実感できたことで、従業員教育やリスクアセスメントなどに力を入れ、お客様に満足して頂ける企業として事業活動を行うために、ISOの活動として取り入れました。又、従業員一人一人が環境に携わる者として、リサイクルの理解を深めることが企業としてのレベルアップにつながります。

震災以来の電力不足も、弊社にとってはとても気になるところです。すべてを電気で稼働させている為、電気の供給不足が経営に及ぼす影響は大きく将来的に不安があります。

今年、弊社は工場の屋根に再生可能エネルギーである太陽光発電設備を設置する事になりました。9月の稼働を目指し、将来的には、工場の施設へ電気の供給が出来ればよいのではと考えております。又、「国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律」（環境配慮契約法）に「産業廃棄物の処理に係る契約」も追加されることとなり、このCSRがとても重要なポイントになると考えています。

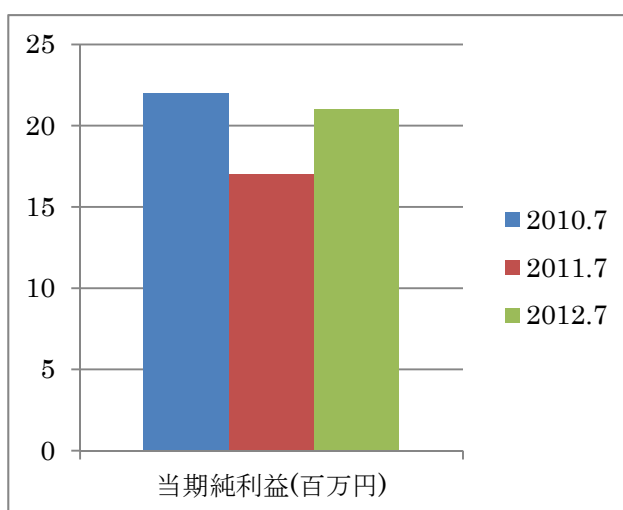
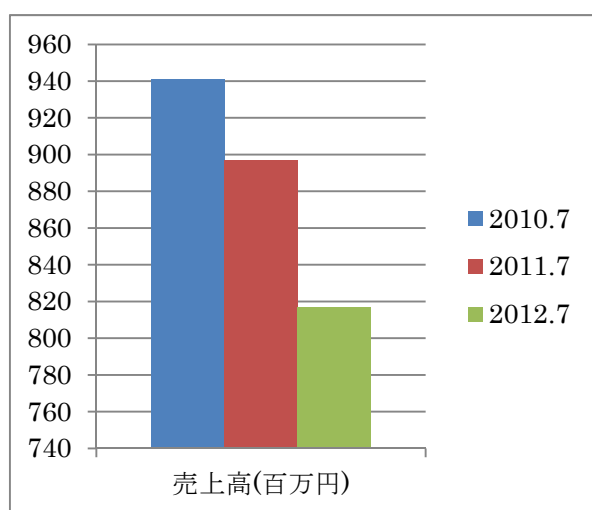
ステークホルダーの皆様へ

弊社は産業廃棄物処理業者として事業活動を行っていますが、地域の方々の理解がなければ事業を行ってはいけません。又弊社に係わるすべての企業の皆様の協力がなくては、お客様に満足していただける事業は行えません。環境保全活動やリサイクル事業を通じて社会に貢献する企業として、ステークホルダーの皆様の信頼にお応えすることが、弊社の発展に繋がると確信しています。これからも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

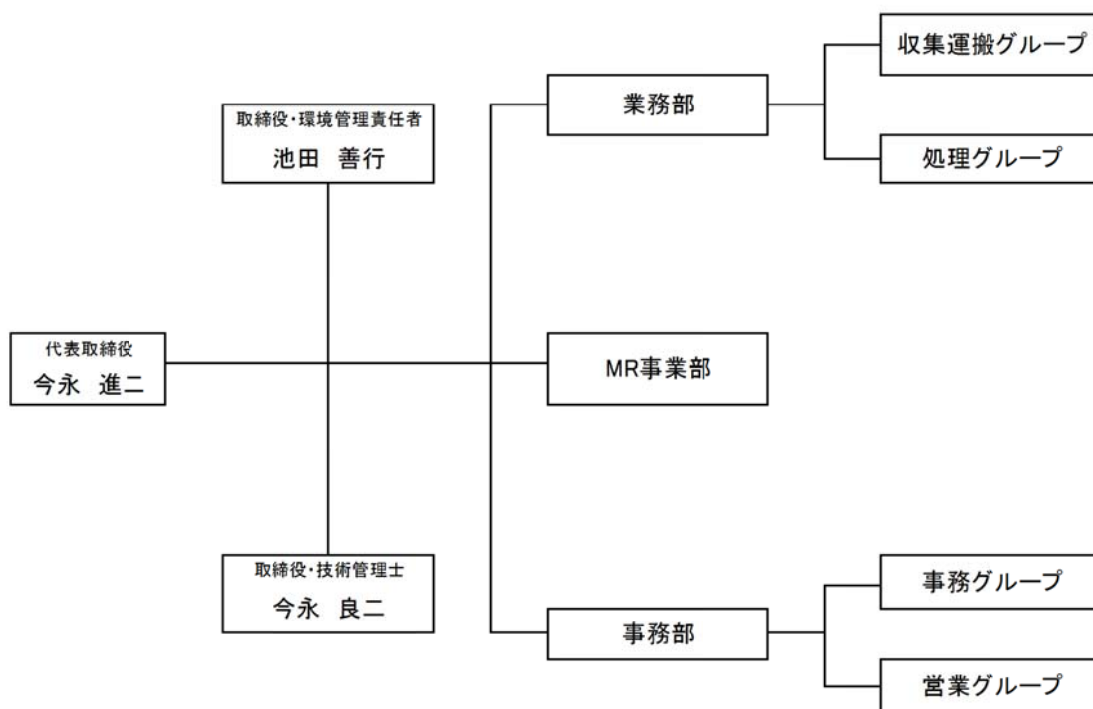
会社概要

商号	株式会社イマナガ
所在地	〒800-0115 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 2 号 TEL093-481-5097 FAX093-481-5098 Mail : info@imanaga-r.co.jp
代表者名	代表取締役 今永進二
役員	取締役 池田善行 取締役 今永良二 監査役 今永洋子
従業員数	40 名
工場所在地	本社工場・第一工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 2 号 第二工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 1 号 MR工場・MR第二工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 41 番
資本金	50,000,000 円
ISO14001 認証番号	JQA EM-1520 (2001 年 4 月 13 日登録)
取引銀行	福岡銀行 門司駅前支店 北九州銀行 門司支店

売上高と当期純利益の 3 年間の推移



株式会社イマナガ組織体制 (平成 2013 年 5 月 1 日改訂)



ISO14001 : 2004 による環境への負荷低減の取り組み (2001 年 4 月 13 日登録)

期間	重点目標
～2003. 7. 31	廃棄物のマテリアルリサイクル推進、各燃料の効率的使用のためのデータ作成・自主基準値作成
2001. 8. 1～2002. 7. 31	各データ収集により把握した基準値をもとに目標値を決定し、有効的なマテリアルリサイクルを推進
2002. 8. 1～2003. 7. 31	廃棄物のマテリアルリサイクルは目標値を大きく超え、設備の導入や分別精度にも転回
2003. 8. 1～2006. 7. 31	電気の効率的な使用、燃料の効率的な使用、紙の有効利用
2006. 8. 1～2009. 7. 31	廃プラスチック類のマテリアルリサイクル推進・各種燃料使用料の低減、労働者の安全衛生確保、グリーン購入法推進
2009. 8. 1～2012. 7. 31	廃棄物のマテリアルリサイクル推進、顧客先管理台帳による一元化(契約書、収集運搬、処理)、従業員のリスクアセスメントへの取り組み

現在までの取組の問題点

2001 年より取り組んできた省資源・省エネルギーの推進について、全社的な取り組みとして通常の業務において、電気使用の把握を行っておりますが、廃棄物処理業者として、廃棄物の処理量が多くなれば使用量が増え、廃棄物の種類により負荷のかかり方が違い、使用機械の稼働状況によっても変動する為、前年と比較する事が非常に難しく、データ比較は出来ませんでした。省力化できる活動を行いました。

現在までの取組により変化したもの

収集運搬車両の燃料の燃費向上活動により、車輛一台当たりのCO₂削減が出来ました。
 又、社内で使用しているフォークリフト(6台)の燃料は、窒素酸化物(NO_x)が少なく、硫黄酸化物(SO_x)や煤煙がほとんど発生しない、クリーンエネルギーであるLPGにしました。

地域社会との交流活動

会社周辺の清掃作業(3回/年)を行っています。



環境イベントへの参加を積極的に行っています。

J A I C A海外企業の工場見学



2013 年度の取組み

各部門、事業部において計画的に取り組みます。

2013 年度の取組み	
廃棄物の資源化及び有効利用の推進	廃棄物のマテリアルリサイクルの推進及びゼロエミッション活動
省資源・省エネルギーの推進	省資源・CO ₂ 削減の推進 定期的なメンテナンス計画による推進
環境保全活動	地域社会との交流
法規制、その他・要求事項の遵守	法条例の遵守：廃棄物管理 法条例の遵守：労働基準法・労働安全衛生法

会社内で使用する燃料についてのCO₂排出量の把握

2011.8～2012.7

(kg/CO₂)

	軽油	電気	L P G	A重油	その他燃料
2011.8	68,601	41,385	7,128	4,877	3,387
9	71,327	45,688	7,164	0	3,803
10	69,279	43,032	6,533	4,877	2,737
11	67,152	40,641	7,635	4,877	2,358
12	67,053	41,920	7,859	4,877	2,974
2012.1	59,771	39,996	5,633	4,877	2,590
2	63,454	39,249	7,444	4,877	2,249
3	70,518	41,753	7,368	9,755	2,959
4	61,932	28,973	6,127	4,877	2,384
5	58,192	29,349	5,592	4,877	4,256
6	69,337	30,186	6,521	4,877	3,092
7	77,050	29,724	6,488	4,877	2,408

2012.8～2013.7

	軽油	電気	L P G	A重油	その他燃料
2012.8	76,419	31,141	7,924	4,877	3,836
9	70,921	34,193	6,634	4,877	2,226
10	67,016	34,074	7,136	4,877	2,278
11	63,493	32,618	6,521	4,877	2,197
12	67,912	36,742	6,235	0	3,156
2013.1	60,086	37,082	6,353	9,755	2,192
2	62,610	45,470	6,969	4,877	1,944
3	67,684	43,086	7,977	4,877	2,982
4	72,160	31,660	6,691	4,877	2,445
5	69,711	27,620	5,536	4,877	3,232
6	74,329	23,993	5,782	4,877	2,063
7	69,198	26,709	6,661	0	2,364

※環境省の温室効果ガス排出量計算のための算定式及び排出係数一覧表による

従業員教育

外部教育（2012年8月から2013年7月まで）		
年月日	内 容	参加人数
2012. 8. 29	平成 24 年度 安全衛生促進研修会	1 名
2012. 8. 30	平成 24 年度 心の健康セミナー	1 名
2012. 9. 5	危険物取扱者定期講習	3 名
2012. 9. 12	副安全運転管理者講習	1 名
2012. 9. 21～30	フォークリフト運転技能講習	1 名
2012. 10. 1	安全運転管理者講習	1 名
2012. 10. 4	計量証明事業主任計量者再講習会	1 名
2012. 10. 15	整備管理者選任前研修	1 名
2012. 10. 23	平成 24 年度福岡県産業廃棄物処理業者講習会	1 名
2012. 10. 23	副安全運転管理者講習	1 名
2012. 11. 20	交通安全講習会・労働災害防止講習会	1 名
2012. 11. 28	職長・安全衛生責任者教育講習会	1 名
2012. 12. 11	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者資格取得講習会	1 名
2013. 1. 23	心肺蘇生法(CPR)講習会	1 名
2013. 1. 22～23	職長・安全衛生責任者教育講習会	1 名
2013. 1. 28	北九州市産業環境推進会議	1 名
2013. 2. 8	平成 24 年度「人権を考える企業のつどい」	1 名
2013. 2. 15	北九州市廃棄物適正処理推進講習会	1 名
2013. 2. 26	公正採用選考人権啓発推進員研修会	1 名
2013. 3. 2～10	フォークリフト運転技能講習	1 名
2013. 3. 12	優良産廃処理業者認定制度説明会	1 名
2013. 3. 14～15	職長・安全衛生責任者教育講習会	2 名
2013. 5. 30	北九州市環境推進会議	1 名
2013. 6. 6～7	経営者安全衛生セミナー	1 名
2013. 6. 13	解体用機械に係る改正労働衛生規則等に関する説明会	1 名
2013. 6. 20～21	安全衛生推進者養成講習会	1 名
2013. 7. 19	平成 25 年度「管理監督者・労務担当者講習会」	1 名
2013. 7. 19	環境配慮契約法基本方針説明会	1 名
2013. 7. 20	積み卸し作業指揮者講習	1 名

内部教育（2012年8月から2013年7月まで）		
年月日	内 容	参加人数
2012 . 8. 27	協力企業様の環境に関する依頼事項	21名
2012. 8. 29	フォークリフトの補助作業訓練(社内資格)	1名
2012. 9. 18	新入社員教育	1名
2012. 10. 3	フォークリフトの補助作業訓練(社内資格)	1名
2013. 1. 19	緊急時対応手順テスト(火災・津波)	22名
2013. 1. 26	ストッパーバルブの打音検査の教育	17名
2013. 1. 29	ISO教育(一般教育、知識教育)	41名
2013. 2. 23	新しい車両管理日報の記入について	18名
2013. 3. 2	協力企業様の構内遵守事項	18名
2013. 3. 12	工場内処理施設の管理手順による教育	1名
2013. 3. 23	工場内処理施設の管理手順による教育	1名
2013. 4. 5	新入社員教育	1名
2013. 4. 6	協力企業様構内の荷卸し手順及び注意事項についての再教育	20名
2013. 4. 20	フォークリフトの補助作業訓練(社内資格)	1名
2013. 5. 7～8	職場変更に伴う教育(作業手順書使用)	4名
2013 . 6. 29	協力企業様構内の荷卸し手順(一部変更)についての教育	18名
2013. 7. 1	職場変更に伴う教育(作業手順書使用)	1名

内部教育の状況



来期に向けての展開

○太陽光発電（イマナガ発電所）

発電出力 250.0kW



パネルの設置が終了し、8月23日に九州電力様の連携接続が終わり、いろいろなテストが終われば、発電がはじまります。

事務所のパネルに発電量が掲示され、ホームページに発電量が掲載されます。

どの位の発電量があるのか、2014年度の環境報告書には数値として掲載されることとなります。

○優良産廃処理業者認定制度

全県の取得を目指しています。

○産学連携技術開発研究活動による新規事業の開拓を行っています。

今年も昨年に続き、九州電力様の節電への協力を行っています。

7月より9月まで毎週1日ではありますが、工場の稼働を定期的に休止し節電に取り組むことにより、資源の大切さを実感しています。

